

令和3年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立田無第二中学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	話し合いでの発言についての説明を選択する	96.3%	全ての領域について全国と東京都の平均を上回っており、基礎学力の定着が見られた。特に、効くこと・話すことと伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項においては8割の正答率があり語彙力が身につけていると考えられる。	日常生活において意識して物事を見たり、考えたりする力については不十分と考える。学習した漢字の使い方を考え、段落相互の関係に注意して書いたり、自分の考えを書いたりする力を養っていく必要がある。
	意見文の下書きを直した意図を選択する	28.6%		
	登場人物の評価と、その接し方をどう思うか	26.7%		
	漢字の読み	97.5%		
算数・数学	経過した時間と影の長さの関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	47.2%	数と式、図形の領域では全国と東京都の正答率を超え、学力の定着が見られた。特に、数学的な見方や考え方の観点については正答率が高く、生徒に深く理解させることができている。	関数の領域の問題に課題が見られた。特に、関数の意味を理解しているか、必要な情報を読み取れるか、数学的に説明できるか、という点に課題が見られた。関数領域についての理解を深めさせる必要がある。
	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する	10.6%		
	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる	92.5%		
	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な秒の重さを求める方法を説明する	37.3%		